

---

# 第102回〔2026年度〕日本選手権水泳競技大会

## 水球競技（男子・女子）最終予選会 実施要項

---

- ◇主 催 公益財団法人日本水泳連盟
- ◇主 管 一般社団法人愛知水泳連盟
- ◇期 日 6月6日（土）・7日（日）・8日（月）
- ◇会 場 クロコくんアリーナ（名古屋市南区東又兵ヱ町5-1-5）

### ◇競技方法及び参加資格

日本選手権出場を争う大会として、各加盟団体・各地区にて参加資格を十分に審査判断すること。運営事務局から指示する行動（健康管理や駐車場を含めた大会会場の使用方法を含む）を遵守すること。

#### 【男子】

- ① 本選参加チーム（8チーム）と順位を決定する。ただし、既に本選参加資格を得ているチームの状況（参加辞退等）によって、本選参加チーム数は変動する可能性がある。  
※参考：本選参加12チームの内訳〔前年度4位までのシードチーム（4）最終予選会代表8チーム（8）〕
- ② 下記a）b）の項目によって出場権を獲得した最大18チームにより、適正な方法で行う。
  - a）前年度の日本選手権5位相当4チーム。（4）
  - b）地区予選会に参加し、出場権を獲得したチーム。※（ ）内の数字は各地区の出場枠数  
〔北海道東北（1）・関東（7）・北信越（1）・東海（1）・近畿（1）・中国（1）・四国（1）・九州（1）〕
- ③ 前年度の日本選手権5位相当4チームにシード権を与え、初戦での対戦を極力避ける組合せを考慮する。

#### 【女子】

- ① 本選参加チーム（6チーム）と順位を決定する。
- ② 以下a）b）c）により出場権を獲得した最大14チームにより、適正な方法で行う。
  - a）地区予選会に参加し、出場権を獲得したチーム。※（ ）内の数字は各地区の出場枠数  
〔北海道東北（1）・関東（5）・北信越（1）・東海（1）・近畿（2）・中国（1）・四国（1）・九州（1）〕
  - b）既に本選参加資格を得ているチームが参加辞退等した場合、前年度日本選手権3位（順位4位まで）のチームの所属する地区に出場枠を増枠する。
  - c）参加枠に満たない地区があった場合は、前年度日本選手権3位（順位4位まで）のチームの所属する地区に出場枠を増枠し、14チームに満たない場合、前年度日本選手権最終予選上位チーム（日本選手権4位までのチームを除く）の所属する地区に順に出場枠を増枠する。ただし、各地区の最大チーム数は、最終予選会から本選へ出場できるチーム数までとする。
- ③ 前年度の日本選手権3位、4位チーム及び5位相当4チームの所属出場枠の本年度上位チームにシード権を与え、初戦での対戦を極力避ける組合せを考慮する。

### ◇申込規定（エントリー）

#### （1）資格

- ① チーム及び選手は、2026年度公益財団法人日本水泳連盟登録団体及び登録競技者であること。
- ② 監督は、チームの代表者として所属する選手や関係者の動向に責任を持ち、競技中はベンチに常駐できるものであること。また、本連盟の公認コーチ・水泳指導員等の資格保持者であることが望ましい。特別な理由がある場合、水球委員会の協議をもって変更を認める事がある。

※監督は、公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ1、公認水泳コーチ2、及び各水泳競技における公認水泳コーチ3、公認水泳コーチ4、又は公認水泳教

師、公認水泳上級教師のいずれかの資格を有する者とする。資格義務付けの準備期間を2029年度までとし、2030年度大会からは資格義務付け完全実施となります。

(2025年度より一部運用開始、2026年度一部訂正)

- ③ 既存の学校や企業等の名称で参加する場合は、その団体に正式に所属している競技者のみで編成されていること。
- ④ 外国籍の選手は、公益財団法人日本水泳連盟外国籍競技者登録細則にのっとりて競技者登録されていること。また、1チームにつき最大2名とする。

(2) 制限

- ① 1チームにつき、選手は規定人数+2名以内・監督1名・スタッフ4名以内とする。ただし、試合に参加できるのは規則どおり選手は規定人数以内・監督1名・スタッフ2名以内とする。当該チームの第一試合についてはその前日17時までに、それ以降は当該チームの前の試合終了後ただちにメンバー表を提出する。
- ② 本大会に関わる全てのチームは、各予選会の申込締切りから本選終了までの期間、その選手・スタッフ構成の変更、並びに他の参加チームとの重複、及び移籍（競技者の登録団体異動）は認められない。特に、他の予選会（日本学生選手権含む）で敗退したチームからの異動は認めない。
- ③ 外国籍の選手は1チームにつき2名以内とする。ただし、留学生等で正科生として大学・高校等に在籍する場合は外国籍選手としての制限外とする。
- ④ 監督は、男女間含め複数のチームにエントリーすることはできない。監督以外のスタッフは、男女チーム間においてのみ兼任を認める。
- ⑤ メディカルスタッフは2名まで参加でき、複数のチームにエントリーすることができる。競技中はベンチ外の指定されたエリアに入ること。
- ⑥ 本選での各チームにおける最終試合において出場停止処分が科された場合、当該チームの次の試合及び次年度の日本選手権本選を対象とする。外国籍選手が対象の場合で本人が在籍しない場合、そのチームの外国籍選手を対象とする。出場停止処分試合数は、公益財団法人日本水泳連盟水球委員会によって通知される。

(3) 申込方法

参加チームは、所定の参加申込書（本連盟HPからダウンロードする）に必要事項を記入（入力）し、プリントアウトした書面に所属加盟団体の参加承認（承認印）を経て、郵送（発送記録の残る方式を利用）又は直接持参にて下記宛て申込むこと。さらに、必要事項を入力したデータファイル及び振込受領証の写真を添付して、下記担当者宛に電子メールで送信すること。

〈留意事項〉

- ① 申込時の選手の番号は、必ず試合時における帽子的番号と同一とすること。ただし、ゴールキーパーとフィールドプレイヤーの入れ替えに限り、規定人数までの番号の選手内での帽子番号の変更登録を認める。また、規定人数外の番号の選手が出場する場合は、欠場する選手との入れ替えを認める。ともに試合前の所定時間までに登録すること。
- ② 備考欄に、キャプテンは「○」を記載すること。
- ③ 監督以外のスタッフは4名まで、メディカルスタッフ2名まで、ベンチに入る予定のメンバーを記入すること。
- ④ 本選出場時に必要となるADカード等に使用する選手・監督・スタッフ全員の顔写真（デジタルデータ）・チームロゴを期日までに提出すること。（準備の関係から最終予選会参加チームは暫定で全チーム提出すること。提出方法については参加チーム宛通知する）

(4) 申込先

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階

公益財団法人日本水泳連盟 第102回日本選手権水泳競技大会 水球競技 最終予選係

(5) 申込締切日 5月14日（木）午後4時必着

※予選会の結果、本選参加資格を得たチームの申込書については、予選会通過の時点で事務局が受理したものとす。本選参加決定後、新たに申込金のみを支払うものとする。支払い方法については、

該当チーム宛通知する。

(6) 申込金 1チームにつき 120,000円

郵便振替口座 東京 00130-1-5178 公益財団法人日本水泳連盟

※振込用紙の通信欄に下記を明記し、振込受領書のコピーを申込書に添付すること

①大会名(=日本選手権<水球競技>男子又は女子)

②チーム名

③申込者氏名

④申込者の連絡先(携帯電話番号など)

◇組合せ抽選会

5月15日(金) 方式については参加チームに別途連絡する。

※監督者かこれに代わるチームの代表者が出席すること。欠席の場合は事務局側で厳正な抽選を行うとともに、決定事項に関しては委任されたものとして扱う。

◇監督者会議

日時・方式については参加チームに別途連絡する。

※監督者かこれに代わるチームの代表者が出席すること。欠席の場合は決定事項に関しては委任されたものとして扱う。

◇問合せ先

公益財団法人日本水泳連盟 水球委員会 競技本部

【男子】E-mail: WP\_JPN-Ch\_Men@googlegroups.com

【女子】E-mail: WP\_JPN-Ch\_Women@googlegroups.com

※社会の情勢等により、出場制限などを含め本要項の内容を変更する可能性があります。